

Spotifyが4年連続でサマソニとコラボ！ RADAR: Early Noiseを軸に、5つの人気プレイリストブランドを体現する Spotify Stageがサマソニ東京に登場

- 「RADAR: Early Noise」からは、PEOPLE 1、にしな、kurayamisaka、luv、OddRe:など注目の次世代アーティスト14組が集結
- 3年目となる「+81 Connect」に加え、「.ORG」「Gacha Pop」が日替わりでステージをテイクオーバーする時間帯が登場。土曜夜限定の特別枠「Altar JP After Hours」も
- 公式プレイリストとビデオポッドキャストでサマソニ25年の歴史を振り返るSpotify限定コンテンツ「5x5 Years of SUMMER SONIC」も本日公開



The graphic displays the Spotify Stage event schedule for Summer Sonic 2026 in Tokyo. It features the Spotify Stage logo and the event details: "in SUMMER SONIC 2026 | TOKYO AT MAKUHARI MESSE". The schedule is organized by date and time slot:

Date	Time	Event/Playlist	Artists
8.14 [FRI]	8.14	RADAR: Early Noise Special	kurayamisaka / ハク。 / First Love is Never Returned 7co / Rol3ert
	8.14	.ORG Live	Jeremy Quartus / REJAY x Andr / ena mori
8.15 [SAT]	8.15	RADAR: Early Noise Special	luv / OddRe: / S.A.R. / Litty
	8.15	+81 Connect Live	Kohjiya / MIKADO / 7
	8.15	Altar JP After Hours	Verses GT / パソコン音楽クラブ / Dungeoneering / FULLHOUSE
8.16 [SUN]	8.16	RADAR: Early Noise Special	PEOPLE 1 / にしな / 名誉伝説 / Maverick Mom / OSHIKIKEIGO
	8.16	Gacha Pop Live	yama / HALCALI / NOMELON NOLEMON

世界で7億5,100万人以上が利用するオーディオストリーミングサービス Spotify(会社名 Spotify AB / 本社 Stockholm, Sweden)は、日本最大級の都市型音楽フェスティバル「SUMMER SONIC(以下、サマソニ)」との共同プロデュースにより、4年連続となるコラボステージ”Spotify Stage”の実施を決定しました。

今年は25周年を記念して8月14日(金)・15日(土)・16日(日)の3日間開催となるサマソニ東京にて、Spotify Stageの内容もパワーアップ。4年目を迎えてSpotify Stageの顔として定着している「RADAR: Early Noise」を軸に、新たなラインナップも加え、計5つの人気プレイリストの世界観を体現したステージをお届けします。

■ RADAR: Early Noise Special

Spotifyが躍進を期待する次世代アーティストをピックアップする「RADAR: Early Noise」からは、今年はもちろんこれまでに本プログラムに選出されたアーティスト、本プレイリストを中心にリスナーベースを大きく伸ばしているアーティストなど、ジャンルの垣根を超えて計14組が集結し、3日間にわたり個性豊かなパフォーマンスを繰り広げます。

■ 3つの人気プレイリストが日替わりでステージをジャック

今年初の取り組みとして、日替わりでSpotifyの人気プレイリストがステージをテイクオーバーする時間帯が登場し、各プレイリストを代表するアーティスト達が、ステージを様々な色に染め上げていきます。

- 8月14日(金):「.ORG」(読み:ドットオルグ)
日本とアジアの最先端インディーサウンドをパッケージしたプレイリスト
- 8月15日(土):「+81 Connect」
J-HipHopシーンを牽引する最新注目曲をお届けするプレイリスト
- 8月16日(日):「Gacha Pop」
日本の多彩なポップカルチャーをグローバルに紹介するプレイリスト

さらに、8月15日(土)夜限定で、国内外のオルタナティブダンスミュージックプレイリスト「Altar JP」がキュレーションする特別枠「Altar JP After Hours」も展開されます。

各日程のSpotify Stage出演アーティストについては、下記をご参照ください。

▼ Spotify Stage in SUMMER SONIC 2026 概要

- 開催日:8月14日(金)、15日(土)、16日(日)
- 会場:幕張メッセ
- 出演アーティスト:

8月14日(金)

[RADAR: Early Noise Special] **kurayamisaka/ ハク。/ First Love is Never Returned/ 7co/ Rol3ert**
[.ORG Live] **Jeremy Quartus/ REJAY x Andr/ ena mori**

8月15日(土)

[RADAR: Early Noise Special] **luv/ OddRe:/ S.A.R./ Litty**
[+81 Connect Live] **Kohjiya/ MIKADO/ 7**
[Altar JP After Hours] **Verses GT/ パソコン音楽クラブ/ Dungeoneering/ FULLHOUSE**

8月16日(日)

[RADAR: Early Noise Special] **PEOPLE 1/ にしな/ 名誉伝説/ Maverick Mom/ OSHIKIKEIGO**
[Gacha Pop Live] **yama/ HALCALI/ NOMELON NOLEMON**

- サマソニ公式サイト: <https://www.summersonic.com/>
- Spotify Stage in SUMMER SONIC 2026 イベントページ: <https://spotify-earlynoise.jp/>

■ Spotify限定コンテンツ「5x5 Years of SUMMER SONIC」

また、公式プレイリストとビデオポッドキャストの両軸でサマソニ25年の歴史を振り返るSpotify限定コンテンツ「5x5 Years of SUMMER SONIC」も本日から公開がスタートしました。2000年の初回から今年まで、5年区切りで歴代サマソニ出演アーティストの楽曲を追体験出来るプレイリストと、サマソニオーガナイザーである清水直樹（クリエイティブマン代表取締役社長）とサッシャ（サマソニメインステージMC）の振り返りトークを存分に楽しめるビデオポッドキャストを組み合わせた特別企画です。

ビデオポッドキャストは「Episode 1: 2000-2004」が本日公開となり、該当するプレイリストの冒頭にも収録されています。今後、ビデオポッドキャストは5月22日まで、毎週金曜日正午に新エピソードが公開され、該当プレイリストに順次追加されていく予定です。トークの様子はRolling Stone Japan WEBサイト (<https://rollingstonejapan.com/>)にてテキスト版が掲載されるほか、4月29日（水・祝）放送のJ-WAVE GOLDEN WEEK SPECIAL「WE LOVE SUMMER SONIC」にて、一部の音声のエディット版でオンエアされます。

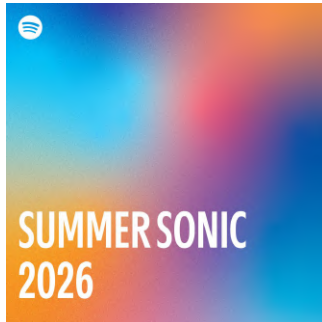
なお、2026年のサマソニ出演アーティストの楽曲は「SUMMER SONIC 2026」、サマソニSpotify Stage出演アーティストの楽曲は「Spotify Stage in SUMMER SONIC 2026」の2つのSpotify公式プレイリストにてお楽しみいただけます。

▼プレイリスト情報

サマソニ2026 出演アーティスト:

Spotify公式プレイリスト「**SUMMER SONIC 2026**」

URL: <https://spoti.fi/SUMMERSONIC>

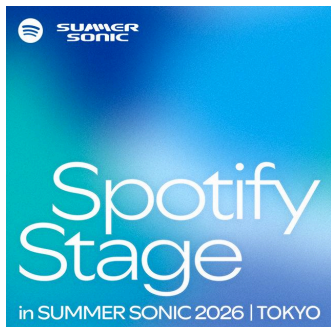


サマソニ2026 Spotify Stage出演アーティスト:

Spotify公式プレイリスト「**Spotify Stage in SUMMER SONIC 2026**」

URL: <https://spotify.link/SpotifyStageinSUMMERSONIC2026>

報道関係者各位



サマソニ25周年記念スペシャルコンテンツ:

Spotify公式プレイリスト「5x5 Years of SUMMER SONIC」

2000-2004: <https://spotify.link/5x5SUMMERSONIC2000-2004>

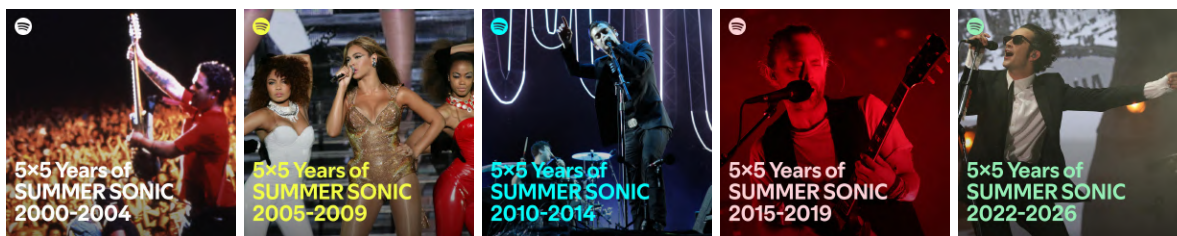
2005-2009: <https://spotify.link/5x5SUMMERSONIC2005-2009>

2010-2014: <https://spotify.link/5x5SUMMERSONIC2010-2014>

2015-2019: <https://spotify.link/5x5SUMMERSONIC2015-2019>

2022-2026: <https://spotify.link/5x5SUMMERSONIC2022-2026>

(*サマソニ開催中止となった2020年・2021年を除きます)



Spotify限定ビデオポッドキャスト「5x5 Years of SUMMER SONIC」

番組URL: https://spotify.link/5x5YearsOfSS_Podcast



<出演アーティスト紹介>

8月14日(金)

[RADAR: Early Noise Special]

kurayamisaka



22年に東京大井町で結成された5人組ロックバンド、00年代オルタナとJ-POPが無邪気に混ざり合ったかのような楽曲にファンが急増中。22年に発表されたオリジナル曲「farewell」は耳の早いリスナーから話題を集めep「kimi wo omotte iru」は国内のみならず海外でも高く評価される。

主催の公演は全て即日sold outを記録し続け、英メディア「NME」の“THE NME100 Essential Emerging Artists for 2025”に日本人アーティストで唯一選出され、ネクストブレイク最有力バンドへ。9/10(水)満を持して1st full albumをリリース。そして9月-11月開催、初の全国6カ所ワンマンツアーを無事完遂。

2026年、Spotifyが年間を通して新進アーティストをサポートするプログラム「RADAR: Early Noise 2026」に選出、「第18回CDショップ大賞2026」にノミネート、日本テレビ『バズリズム02』の新春恒例企画「今年コレがバズるぞ！2026」にて1位に選ばれる。

X: https://x.com/kurayami_saka

Instagram: https://instagram.com/kurayamisaka_band

YouTube: https://www.youtube.com/@kurayamisaka_official

ハク。



2019年結成の4ピースハク。ミニアルバムとフルアルバムのリリースを経て、2025年1月、全4曲入りのE.P.「Catch」をリリース。

5月、映画「6人ぼっち」主題歌となる「南新町」をリリース。そしてトイズファクトリーより9月にメジャー第1弾となるDigital Single「それしか言えない」、10月にはWEBアニメーション「うごく！ねこむかしばなし」主題歌となる「夢中猫」をリリース。

2026年3月に全4曲入りのEP「世界」をリリース。毎年開催している「ハク。の日」の8月9日に大阪編を心齋橋BIGCAT、8月18日に東京編を恵比寿LIQUIDROOMにて開催する。

海外でのフェスやツアー出演に加え、韓国ワンマン2デイズを開催するなど、活動の幅をワールドワイドに広げ、2026年は国内外でのさらなる飛躍が期待される。

Official HP: <https://hakumaru.com/>

X: https://x.com/haku_circle/

Instagram: https://www.instagram.com/haku_official/

First Love is Never Returned



『この声に恋をする』——First Love is Never Returned (FLiNR)。

NYのハーレム地区でのボーカル留学経験を持ち、透明感とエモーショナルな表情を併せ持つKazuki Ishidaの圧倒的な「恋する歌声」を最大の武器として、R&Bを源泉とした全方位型ポップミュージックを放つ。現在も全員が北海道在住の5人組バンド。

2016年にKazuki Ishida (Vo/Gt/key)とYuji Sato (Ba)が前身バンドを結成し、2018年に現バンド名へ。「初恋のような、音楽と出会った時の初期衝動を忘れない」という意味を込める。

2020年からコロナ禍で2年以上の実質活動休止状態となるが、2022年末から活動再開。メンバーチェンジなどを経て、2023年2月より現5人体制となる。

完全無名状態だったが、活動再開からおよそ半年後に「RISING SUN ROCK FESTIVAL」への出場を決める。その後も「Spotify RADAR: Early Noise」への選出や「VIVA LA ROCK 2024」への出場、東阪札ワンマンツアーの成功など、沸々と音楽フリークや業界内の注目を集め、新たな時代のポップミュージックを担う。

Official HP: <https://fliinr.jp/>

X: https://x.com/1st_love_is

Instagram: https://www.instagram.com/1stlove_is/

7co

ボーカル芦田菜名子と音楽プロデューサーRYUJAIによる音楽プロジェクト。HIPHOP、R&Bをベースにポップスを融合した先進的なサウンドと共感性の高い歌詞で注目を集める。2025年にはSpotify「RADAR: Early Noise 2025」に選出。楽曲「0.0000%」は中国QQ Music J-POP週間チャートで1位を獲得。「SUMMER SONIC 2025」に出演し、韓国でのイベント出演など海外へ活動の幅を拡大。2026年には「Shazam Fast Forward 2026」に国内唯一のアーティストとして選出されるなど、グローバルでの飛躍が期待されている。

X: https://x.com/iam_7co

Instagram: https://www.instagram.com/iam_7co/

Rol3ert

2005年アメリカ生まれ。2歳から日本で育つ。2025年1月より本格的にソロアーティストとしての活動をスタート。これまでに発表してきた楽曲では、主に英語詞で世界中のリスナーに向けて発信しながら、日本語やJ-POP由来のメロディを織り交ぜることで、独自の音楽性を確立している。Instagramに投稿したカバー動画は世界的にバイラルし、400万回再生を超える動画も記録。オリジナル楽曲も各国のプレイリストに取り上げられ、日本のみならず、韓国、台湾、タイ、インドネシア、フィリピン、アメリカ、ブラジルなど、海外にも多くのリスナーとSNSフォロワーを持つ。活動開始から約7カ月ながら、『FUJI ROCK FESTIVAL '25』『SWEET LOVE SHOWER 2025』などの大型フェスに出演。

最新曲「savior」はSpotify「New Music Friday」にて22カ国でピックアップされ、「RADAR: Early Noise 2026」にも選出。さらに、ニューヨーク・タイムズスクエアの巨大スクリーンに登場し、渋谷WWW Xでのワンマン公演をソールドアウトさせた。

報道関係者各位

スポティファイジャパン

加えて、2026年3月24日には『Rolling Stone』誌のグローバル連動企画「Future of Music」において、“日本代表”25組の一組にも選出されるなど、“グローバル音楽シーンに挑む日本発の新たな才能”として注目を集めている。

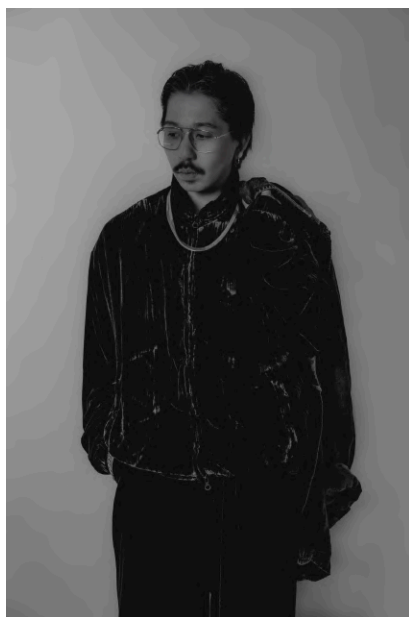
Official HP: <https://rol3ert.com/>

X: <https://x.com/rol3ertmusic>

Instagram: <https://www.instagram.com/rol3ertmusic/>

[.ORG Live]

Jeremy Quartus



Nulbarichのボーカル・JQによるソロプロジェクト。

作詞・作曲・編曲・プロデュースをマルチにこなしHIP HOP, R&Bをはじめ、多くのブラックカルチャーに影響を受けてきた経験を元に、より私的で内面的に表現の本質を追求するためにソロプロジェクトを2025年7月よりスタート。

他アーティストへの楽曲提供やプロデュースも行い、DJとしても活動する。

Official HP: <https://jeremyquartus.com/>

X: <https://x.com/jeremyquartus>

Instagram: https://www.instagram.com/jeremyquartus_staff/

報道関係者各位

REJAY x Andr



REJAY (リジェ)

北海道ニセコ出身の20歳。オーストラリア人で、ある父の影響で、幼少期から様々なジャンルの音楽を聞いて育つ。13歳から作詞作曲を始め、YouTubeにアップしたカバー動画などをアップしていたところ、NulbarichのJQにその歌声を発掘され、JQプロデュースの元で活動を始める。影と透明感の両極を兼ね備えた唯一無二な歌声を持つ。

X: https://x.com/rejay_official

Instagram: https://www.instagram.com/rejay_rejay



Andr

インディーポップ、オルタナティブR&B、インディーロックを自在に横断するサウンドで注目を集める、台湾出身の新進気鋭アーティスト。ギターをメインに、アンビエントなフィールドレコーディングを重ねた楽曲は、空気感に満ちたアトモスフェリックな世界観と、深い感情表現を兼ね備えている。

中国語と英語を自然に織り交ぜたリリック、ソウルフルな歌声、そしてシネマティックかつ実験的なアレンジは、アジアのオルタナティブ・ポップシーンにおいて最も注目を集める新世代アーティストの一人として高い評価を得ている。

Instagram: <https://www.instagram.com/vo.andr/>

ena mori

1980年代後半から90年代初頭にかけてのドリームポップの幻想的な質感と、アートポップの前衛的な精神にインスパイアされたena moriは、アジア全域で注目を集めるサウンド・ヴィジヨナリーとして台頭してきた。彼女の音楽は、クラシカルな感性と現代的なエッセンスが融合した魅惑的なサウンドで、幅広い影響源を反映している。

彼女の飛躍は、デビューアルバム『DON'T BLAME THE WILD ONE!』のリリースによって決定的となった。本作はNME Asiaの「2022年ベストアルバム」1位を獲得し、5つ星レビューの評価を受ける。レビューでは「希望を失った人々への勝利の叫びであり、星に手を伸ばすようなポップフックに満ちている」と評された。フィリピン最大の音楽賞『Awit Awards』では最優秀作品賞を獲得。

2025年にはSXSW LondonやUKのライジング・デュオ、PUNCHBAGのサポートアクトとしても話題を呼ぶ。同年、フィリピンとシンガポールでのAURORAのアジアツアーでのサポートアクトも務める。その後、本国NME UKの表紙を飾るなど、ena moriの勢いは国際的な音楽メディアにも注目されており、CLASH Magazineは「キャロライン・ポラチェックやビョークの近年作と比較する価値がある」と評し、Metal Magazineは「『rOe』には静かな不安定さがあり、すべてが固定されておらず、明晰さが常に手の届かないところにある」と述べている。

ena moriのアーティストとしての歩みは、革新を追求し続ける姿勢によって特徴づけられており、クラシカルなルーツの優雅さと、前衛的な影響を見事に融合させている。

日本でも、ハーゲンダッツ ミニカップ『ザ・ミルク』やTomgggと共に「ポカリスエット」CMソングへの楽曲起用・提供など多岐にわたる活動を見せる。

X: <https://x.com/enamorimusic>

Instagram: <https://www.instagram.com/enamorimusic/>

8月15日(土)

[RADAR: Early Noise Special]

luv



2023年6月結成

Hiyn(Vo&Gt)、Ofeen(DJ)、Rosa(Key)、Zum(Ba)、Sho(Ds)の5人組。

メンバー全員2003年生まれの新世代フューチャーソウルバンド。

2025年2月にリリースした「Send To You」がバイラルヒットし、日本、台湾、香港、韓国でSpotifyバイラルチャートのTOP5入りを果たす。

2025年2月リリースには1st Mini Album「Already」、また2025年10月には1st EP「Seeds」をリリース。11月からスタートした全国5都市を巡る2ndツアーも大盛況となった。

2026年、SpotifyのRADAR: Early Noise 2026に選出！

2月にDigital Single「Ohaguro」をリリース。3月から東京・ソウル・台北を巡るアジアツアー及びその後6都市を回るEXTRA SHOWS IN JAPANを開催。

また2026年12月にはluv one man tour 2026 “by”の開催がZepp DiverCityにて決定！

Official HP: <https://luv-band.com/>

X: https://twitter.com/luv_20221030

Instagram: https://www.instagram.com/luv_official2023/

OddRe:

AirA(Vo)、ユキ サダ(Ba/Vo)、SOI ANFIVER(Gt/Comp/Trackmaker)による3ピースバンド。類いまれな作曲センスを持つトラックメイカー／ギタリストのSOI ANFIVERを中心に、独自の存在感を放つベース／ボーカルのユキ サダ、そして圧倒的な表現力を備えたボーカリストのAirAで結成。ブルースロック、ファンクディスコ、ヒップホップ、ハウスなど国外のサウンドをベースに、J-Rockやボーカロイドなど国内のメロディアスかつ変幻自在なサウンド構成が融合し、ロックバンドの新世代を定義する。三者それぞれが異彩を放つ、変わり者たち(Odd)が令和へ鳴らすその返信(Re:)を“踊れ”。

Official HP: <https://oddre.jp/>X: https://x.com/www_oddre_jpInstagram: https://www.instagram.com/_www.oddre.jp/**S.A.R.**

オルタナティブクルー、S.A.R. (ヨミ:エスエーアール)。

2022年より現メンバー体制で本格的に活動を開始。SOUL、R&B、HIP-HOP、JAZZなどをベースにしながらも、メンバーそれぞれのルーツを反映した幅広い音楽性を持ち、音源のみならず映像、アートワークなどあらゆる制作物を自身で手掛ける。

X: <https://x.com/SARofficial311>Instagram: <https://www.instagram.com/s.a.r.official/>

Litty



アメリカと日本、両方の文化的ルーツを持つ次世代ラッパー。2024年に本格的にキャリアをスタートし、9月リリースのデビュー曲「Pull Up」は6か月で約200万回再生を突破。トラップ、R&B、ポップス、エレクトロを取り入れた洗練されたサウンドと、情感豊かなリリック、キャッチーなメロディで支持を広げている。Shaboozeyや Tygaとのサイニング実績を持つ米名門「EMPIRE」と契約し、米メディアDAZED や HIPHOP DX から「注目すべき存在」と評される。新鋭プロデューサー Lion Melo と共に「Tekipaki」「Runnin' Out」「BOUNCE feat. C.O.S.A.」などを発表し、MVのクリエイティブも高く評価されている。2026年3月、デビュー・アルバム『Get Litty?』を発表。

X: <https://x.com/littychandayo>

Instagram: <https://www.instagram.com/littychan/>

[+81 Connect Live]

Kohjiya



2002年生まれ、23歳長崎出身・東京在住のラッパー/ソングライター名前の由来は、地元である麴屋町(こうじやまち)からきている。2014年地元の同級生であるSHIÓLA,AURALと共にラップを始め、2020年、本格的にキャリアをスタートさせる。翌年2021年にYellow Bucks とのコラボ曲をリリースし注目を集めるとIO (KANDYTOWN)のアルバムに客演参加するなどシーンの第一線を走るアーティストから確かな信頼を得る。2024年には「この一年を自分の年にする」という意気込みを込めて、「KJ SEASON」を掲げ3枚のミニアルバムをリリース。また、2025年にはPOCARI SWEATのCMソングとしても使用された「STUTS - 99 Steps feat.Kohjiya, Hana Hope」でも注目を集めテレビ朝日系ミュージックステーションへの出演も果たした。その他ラップスタア誕生2024優勝、THE FIRST TAKE への出演など話題となった。2026年の6月にはキャリア初となる武道館2DAYS公演を発表しソールドアウト。また、音楽以外にもアルバムのアートワークやグッズのディレクションなど、クリエイターとして幅広く活動している。

Instagram: <https://www.instagram.com/kohjiya/>

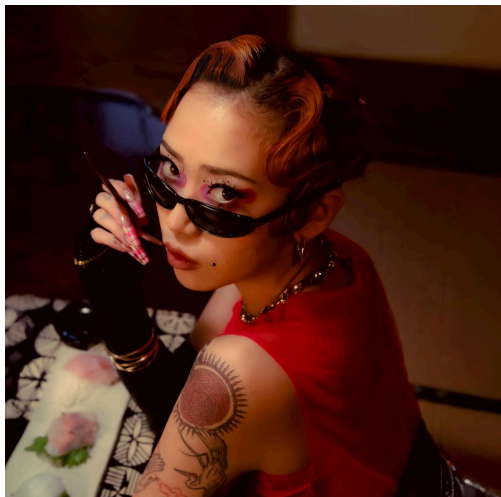
報道関係者各位
MIKADO



2001年、和歌山県和歌山市生まれ。2024年のABEMAのオーディション番組「ラップスタア誕生」に出場し、その後にリリースした『言った!!』はバイラルヒットを果たし大注目を集めた。
同年7月にはソロ2作目となるアルバム『Re:Born Tape』をリリースしその勢いをさらに加速させた。そして2025年6月にリリースした21曲入りビッグアルバム『HOMUNCULUS』はアップルヒップホップミュージックチャート1位を獲得、同年10月にリリースしたHARKA、ENELとのコラボアルバム『GUNSO LYFE STYLE』は和歌山のシーンのSWAGを全国に見せつけた。
自身のバックボーンと声を武器に日本のヒップホップシーンの異端児としてシーンにその名を確立している。

Instagram: https://www.instagram.com/mikado_ff/

7



2001年生まれ、和歌山県海南市出身のアーティスト。AbemaTV人気番組「ラップスタア誕生」ではファイナリスト入りを果たした実力派フィメールラッパーで、チャイナドレスを纏った風貌に独特な発声が魅力的な彼女は日本のみならず海外からも注目を集めている。
繊細なメロウチューンから鋭いラップまで自在にこなし、表現の幅の広さも彼女の大きな魅力のひとつとなっている。

報道関係者各位

スポティファイジャパン

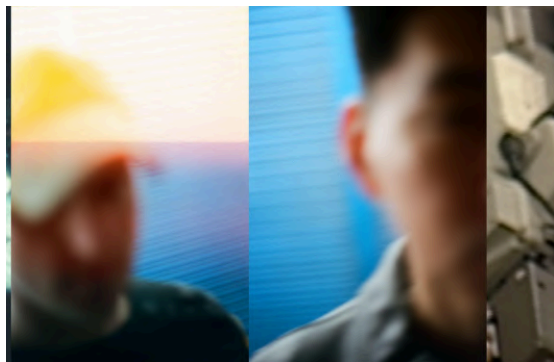
近年は KEIJU や STUTS, ZOT on the WAVE をはじめとするアーティストから客演に招かれる機会も増え、彼女の持つ声質と存在感は多方面で求められている。

X: https://x.com/7official_jp

Instagram: https://www.instagram.com/7_official.jp/

[Altar JP After Hours]

Verses GT



Nosaj ThingとJacques Greeneによるコラボレーション・プロジェクト。アルバム、ライブ、映像を横断しながら、新たなコラボレーションのあり方を提示する二人は、2023年のコラボ・シングル「Too Close」以降も共同作業を続け、昨年デビュー・アルバム『Verses GT』を発表。制作はロンドン、ロサンゼルス、東京、パリ、モンテリオールなど各地で行われ、デジタル上のやり取りではなく対面でのセッションを重視。互いのソロ活動で培った表現を解き放ちながら、現代を生きる感覚や時間の蓄積を映し出す重厚で触感的なサウンドを構築した。George Riley、Kučka、TYSONらを迎えた楽曲や、ビジュアルチームとの連携により、Verses GTは音楽を超えた集合的な体験として結実している。

Instagram: <https://www.instagram.com/versesgt/>

パソコン音楽クラブ



2015年結成のDTMユニット。メンバーは大阪出身の柴田碧と西山真登。アナログシンセサイザーや音源モジュールのサウンドをベースにエレクトロニックミュージックを制作している。他アーティスト作品への参加やリミックス制作も多数手がけており、ラフォーレ原宿グランバザールのTV-CMソング、TVドラマ「電影少女- VIDEOGIRL AI 2018-」の劇伴制作、アニメ「ポケットモンスター」のEDテーマ制作など数多くの作品を担当。ライブも精力的に行っており、FUJIROCK2025へも出演し話題となった。2018年に初の全国流通盤となる1stアルバム『DREAM WALK』をリリース。2019年、2ndアルバム『Night Flow』は第12回CDショップ大賞2020に入賞し注目を集める。その後も継続的にアルバムを制作し、2024年に5枚目となるアルバム『Love Flutter』をリリースした。

Official HP: <https://www.pasoconongaku.club/>

X: <https://x.com/pasoconongaku>

Instagram: <https://www.instagram.com/pasoconongaku/>

Dungeoneering



2025年にAlbino SoundとDaigos (D.A.N)によって結成され、直後よりロンドンのレコードショップ「Kindred」の東京ポップアップや、2025年がラストイヤーとなった岩壁音楽祭、Rainbow Disco Club 26といったフェスティバルでライブセットを披露し日本のクラブシーンに新たな風を吹き込んでいるエレクトロニックデュオ。Dungeoneeringは、音と空間、身体と意識の関係性を深く掘り下げることを目的としたプロジェクトであり、名前が示す通り「地下深くへ潜る」ような感覚をコンセプトとしている。Albino Soundによる重心の低いリズムを土台とし、Daigosによるボイスループや即興で生み出されるメロディやテクスチャによって展開するそのサウンドはテクノや実験的、アンビエントといった要素を内包しながら、明確なジャンル分けは拒んでいる。

FULLHOUSE



2026年4月24日

報道関係者各位

スポティファイジャパン

大阪を拠点に活動するDJコレクティブ、FULLHOUSE。ジャンルやスタイルを超えて交差するプレイスタイルと、多様なバックグラウンドを持つDJ陣によって、関西のクラブシーンに独自の磁場を生み出してきた。ローカルへの深いリスペクトとグローバルな感覚を併せ持ち、国内外のゲストを迎えたパーティーも多数開催。アート、ファッション、カルチャーも巻き込みながら、日常と非日常が交差する空間を作り出している。

Instagram: <https://www.instagram.com/fullhouse.jpn/>

8月16日(日)

[RADAR: Early Noise Special]

PEOPLE 1



東京を拠点に活動する音楽家Deu (Vo, G, B, Other)が、Takeuchi (Dr)、Ito (Vo, G)と共に結成したバンド「PEOPLE 1(ピープルワン)」。Deu が手掛けるジャンル横断的かつ文学的な楽曲と、独創的な世界観を表現したミュージックビデオ/アートワークは、「中毒性がある/エモい/オシャレでどこか懐かしい」とインターネット上で話題を集め、YouTube で公開されたミュージックビデオの総再生回数は1億回、登録者数は36万人を超えている。

Official HP: <https://ppppeople1.com/>

X: https://x.com/ppp_people1

Instagram: <https://www.instagram.com/ppppeople1/>

にしな



新時代、天性の歌声と共に現れた新星、「にしな」。

やさしくも儂く、中毒性のある声。

どこか懐かしく、微睡む様に心地よいメロディーライン。

無邪気にはしゃぎながら、繊細に紡がれる言葉のセンス。

穏やかでありながら、内に潜んだ狂気を感じさせる彼女の音楽は、聴く人々を徹底的に魅了する。

Spotifyがその年に注目する次世代アーティスト応援プログラム「RADAR: Early Noise」に選出。
ゆっくりとマイペースにリスナーを虜にしてきた彼女の声と音楽が、静かに、そして、より積極的に世の中へと出会いを求めに動き出す。

最重要ニューカマー、「儂さと狂気」を内包する才能が、ここに現る。

Official HP: <https://nishina247.jp>

X: <https://twitter.com/nishina1998>

Instagram: <https://www.instagram.com/247nishina247>

名誉伝説



グッドミュージック製造バンド=名誉伝説。

Vo.こたにの儂くも温かい、唯一無二の歌声と、Gt.けっさくが手がけるポップでコミカルなライブミュージックが、圧倒的中毒性を生む。

2023年5月、1st Single「ラヴィング」をリリースして活動開始。

2024年3月にはPEOPLE 1 × Tele対バンのフロントアクトを皮切りに、数々のフェスに出演を果たす。

2025年6月より新体制となり、さらにギアを上げて加速を続ける中、2026年には「RADAR: Early Noise 2026」への選出が決定。Spotify月間リスナーは30万人を突破した。

SNSでの熱狂はリアルへと連鎖し、キネマ倶楽部で開催される初のワンマンショーは解禁後即完売。

フェス出演も続々と決定し、

豊かな音楽を丁寧に届けることから、自らアクションを起こすフェーズへ。

名誉伝説の音で世界を染め上げ、日常を照らす"グッドミュージック"を掲げ、音楽シーンに新たな景色を描く。

Official HP: <https://meiyodensetsu.com/>

X: <https://x.com/MeiyoDensetsu>

Instagram: <https://www.instagram.com/meiyodensetsu/>

Maverick Mom



石川県発、4ピースロックバンド。

2022年4月、南出大史(Vo./Gt.)の声がけにより結成。

結成4ヶ月で『ROCK IN JAPAN FESTIVAL 2022』出演をかけたオーディションを優勝。

2023年にはスピードスターレコーズ30周年記念イベント『LIVE the SPEEDSTAR』オーディションを勝ち抜く。

同年3月には、地元石川県白山市松任文化会館ピーノにて開催した初のワンマンLIVEで1,100人を超える動員を達成。

同年11月にリリースしたミニアルバム「unknown」は、第16回CDショップ大賞2024北陸ブロック賞を受賞。

2025年4月にリリースしたEP「COMPASS」収録の“儂夏”がSpotify日本/韓国のバイラルチャートにて、それぞれ5位/4位にランクイン。

2026年にはSpotifyが選出する今年躍進が期待される注目の新進国内アーティスト10組「RADAR: Early Noise 2026」に選出。5月13日にMajor Debut 1st Full Album『Travessia』をリリース。

Official HP: <https://maverick-mom.com/>

X: <https://maverick-mom.com/>

Instagram: https://www.instagram.com/maverickmom_band/

OSHIKIKEIGO



不気味さとやさしさを内包する類似がない歌声と、独特のリズム感や斬新な切り口の歌詞が人を惹きつけるセルフプロデュースのソロアーティスト。

2024年に開始したSNS投稿直後から大きな反響を呼び、業界関係者からのオファーが殺到。

2025年4月にユニバーサルミュージックから「モナリザ」でメジャーデビュー。7月にはTVアニメ「フェルマーの料理」オープニング主題歌「メイラード」をリリース。同年11月には、初のワンマンライブ「OSHIKIKEIGO First Free One-man Live “BOARDING PASS”」を東京・大阪にて開催し、大盛況のうちに成功を収めた。

2026年1月にはSpotify「RADAR: Early Noise 2026」へ選出され、2月にリリースした「インスタントナイト」はラジオ局・CS局を中心とした全国のメディア47箇所から、パワープッシュに抜擢。4月にはドラマ『君が死刑になる前に』主題歌「ReTake」をリリースし、早くも新世代を代表するアーティストとして音楽ファンの注目を集めている。

Official HP: <https://www.universal-music.co.jp/oshikikeigo/>

X: <https://x.com/OSHIKIKEIGO>

Instagram: <https://www.instagram.com/oshikikeigo/>

[Gacha Pop Live]

yama



2020年4月にオリジナル楽曲『春を告げる』で鮮烈なデビューを飾ったソロ・シンガー。TVアニメ「黄泉のツガイ」のED主題歌「飛ばうよ」、まじかるちいかわスペシャルMVテーマソング『マジカルシンドローム』、TVアニメ「SPY×FAMILY」のED主題歌『色彩』など多くのヒット曲を抱える。アジアツアー『虎視眈々2025』では、ソウル/台北/高雄/シンガポール/香港をまわり、約7,000人のファンが集った。2026年3月にはコンセプトEP『C.U.T.』をリリースし、全国ツアー「羽化」を開催。

Official HP: <https://www.sonymusic.co.jp/artist/yama/>X: <https://x.com/douhwe>Instagram: https://www.instagram.com/ya.ma_00/**HALCALI**

HALCALIはHALCAとYUCALIの2人組ユニット。2人は小学生時代から非常に仲が良いダンススクール仲間、2002年に開催されたfemaleラッパー・オーディションで優勝し、2003年1月にシングル「タンデム」でCDデビューした。

「HALCALI」という名前の由来は2人の名前である「HALCA」と「YUCALI」を合わせたもの。RIP SLYMEのRYO-ZとDJ FUMIYAによるO.T.F(オシャレ・トラック・ファクトリー)が全面的にプロデュースしている。

2025年海外を中心に「おつかれSUMMER」がヒットし、再び注目を浴びている。

Official HP: https://bio.to/HALCALI_officialX: https://bio.to/HALCALI_officialInstagram: https://www.instagram.com/halcali_official/

NOMELON NOLEMON



2021年デビュー。クリエイター・ツミキとSSW・みきまりあの二人組音楽ユニット。ノイズで尖った音像と、誰もが受け入れられるポップさを両立した独創的な音楽性で注目を集め、2ndアルバムの表題曲としてリリースした「SAYONARA MAYBE」はTikTokをはじめとしたコンテンツでバイラルヒットを記録。2024年に楽曲「水光接天」でTVアニメ『るろうに剣心 -明治剣客浪漫譚- 京都動乱』第1クールのエンディングテーマを務め、2025年には『機動戦士Gundam GQuuuuuuX』の挿入歌として「ミッドナイト・リフレクション」「きえない」「HALO」と3曲を書き下ろし話題になるなど、年々その存在感を強めている。

Official HP: <https://www.sonymusic.co.jp/PR/NOMELONNOLEMON/>

X: https://x.com/NMNL_staff

Instagram: https://www.instagram.com/nomelonnolemon_staff/

■Spotifyについて

<https://www.spotify.com/>

Spotifyは2008年のサービス開始以来、音楽の楽しみ方を一変させました。Spotifyでは1億曲以上の音楽や700万番組以上のポッドキャスト、35万以上のオーディオブックを、無料で発見・管理・共有することができます。有料のプレミアムプランにアップグレードいただければ、広告が入らず、より高音質に、インターネット環境がなくても、好きな曲順にお楽しみいただけます。Spotifyは、現在180以上の国と地域で、2億9,000万人の有料会員を含む7億5,100万人のユーザーが利用する、世界で最も人気のあるオーディオストリーミングサービスです。

Spotifyニュースルーム「For The Record」: <https://spotifynewsroom.jp/>